

■韓国・米国：韓米原子力協定の改正交渉が本格化

外交通商部（MOFAT）は2010年8月3日、韓米両政府が2010年秋から原子力協定の改正に向けた交渉を本格化することを合意したとのことである。この協定は2014年に期限切れとなるが、これまで使用済み燃料の再処理問題を巡り両国の意見が対立していた。韓国側は乾式再処理技術（Pyro-reprocessing）による使用済み燃料の再処理を核兵器開発の懸念がない平和的な再処理技術であると主張していたが、米国が異議を唱えていた。MOFATの関係者は「米国は使用済み燃料を平和的に再利用するという韓国の姿勢を信頼している。今後、交渉の過程で両国の科学技術陣が技術的な問題を検討することになる」と述べている。なお、両国は2010年7月に開催された外交・国防会議において「気候変動およびエネルギー安全保障に対処するため両国が新しい韓米原子力協定のため努力する」ことで合意している。